

介護支援課平成26年度予算要求・事業のポイント

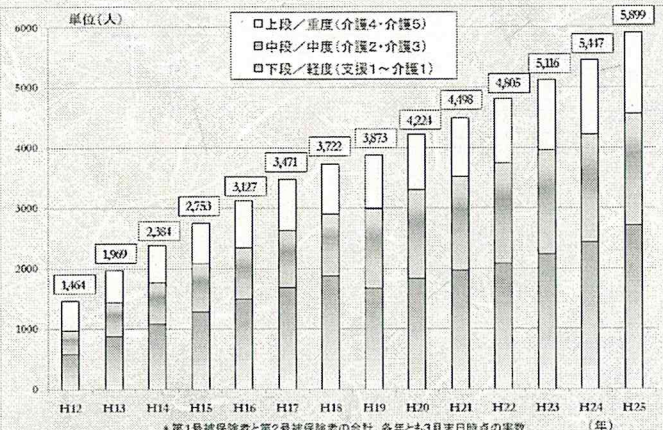
【介護保険特別会計】

※いずれも3月議会での承認を得ることが前提です。

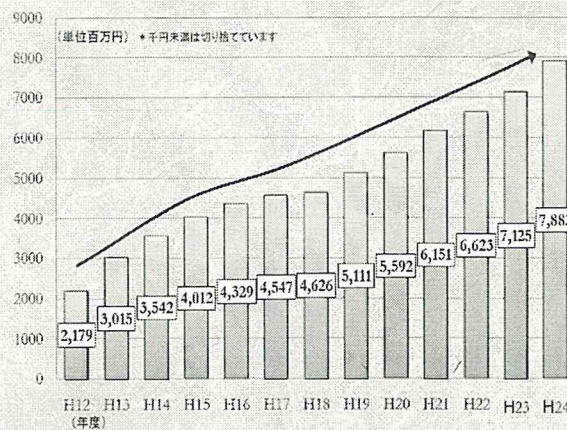
介護保険制度にとっては、平成26年度は3年単位の第5期介護保険事業計画期間の最終年度となります。制度運営に関する点においては、介護保険料がこれまでと同一額（標準世帯の方で月額4,590円）による賦課徴収となるほか、要支援及び要介護認定者の介護保険サービス利用に係る総給付費が、平成23年度で約67億3千万円、平成24年度で約74億6千万円と、要介護（要支援）認定者の増加に比例して増額傾向となっていることから、平成26年度では、認定者の増加に対応した予算編成を行うこととしています。

一方で、地域包括支援センターの運営委託事業及び介護予防事業について、引き続き事業の充実を図り、高齢者の住み慣れた在宅生活の継続支援を図って行きます。

また、平成26年度予算には反映しないものの、平成27年度から施行される介護保険制度改正に対応した第6期介護保険事業計画の策定作業を行う年度に当たり、当事業計画及び関係条例について、本審議会に適時報告しつつ諮問を行ってまいります。

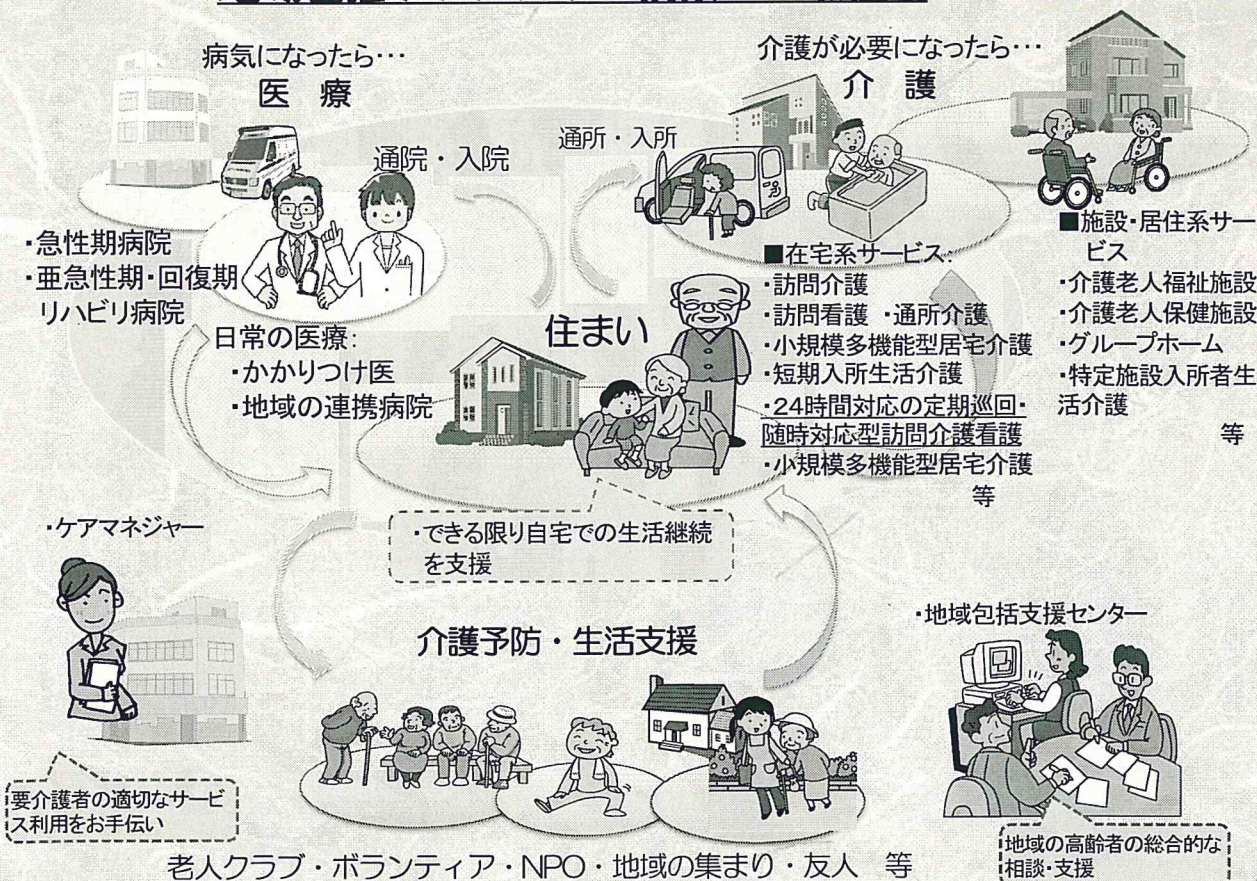


流山市の要介護（要支援）認定者数の推移

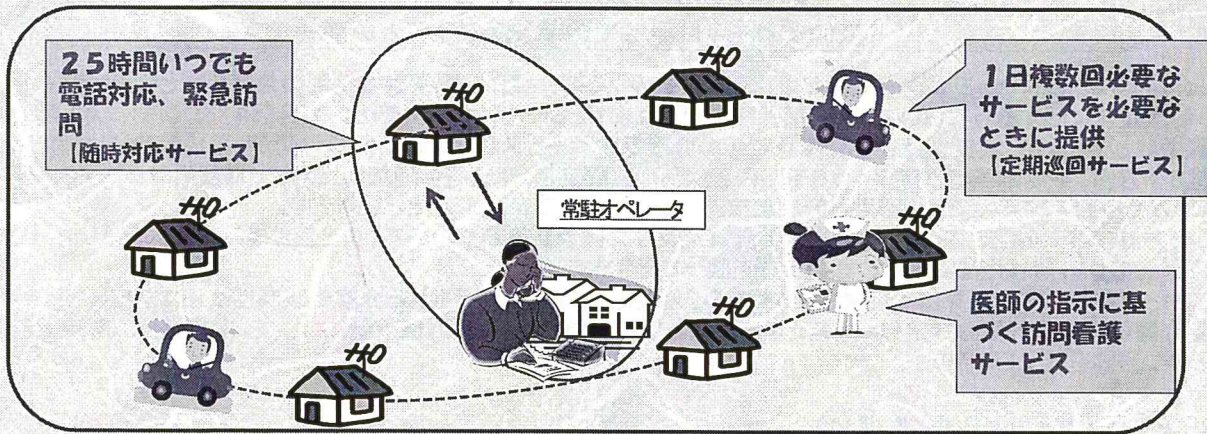


流山市の介護保険給付費の推移

地域包括ケアシステム構築への取組み



定期巡回・随時対応型訪問介護看護の定着化



【定期巡回・随時対応型訪問介護看護指定事業者】

- ・24時間サポート流山（運営法人：医療法人社団なごみ会）
- ・事業所位置：流山市東初石3丁目87番地の23
- ・サービス提供地域：流山市全域

①サービス利用者数の状況

4月スタート時：2名 10月20日時点：11名
平均介護度… 2.5

②延べ訪問回数

8月時点で6名に対し414回（1人平均1日2.3回）

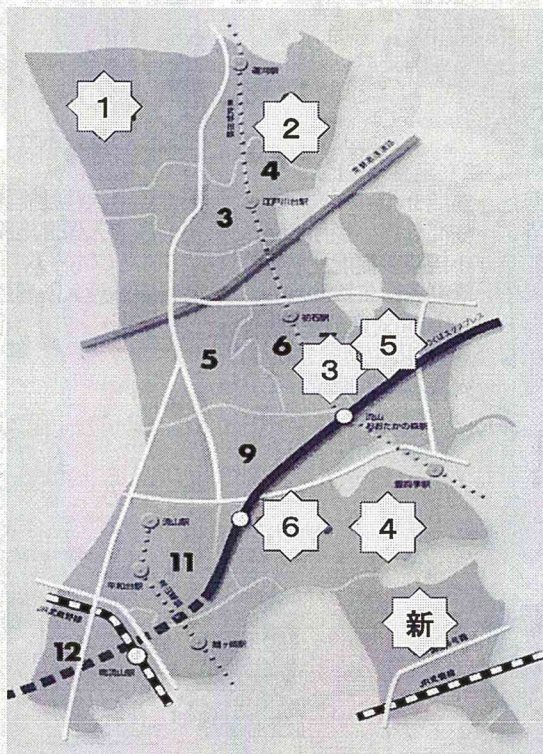
☆地域包括ケアシステムの中で要介護者の自宅での生活継続を支援する中心的役割を果たすサービス → H26年度においても当サービスの周知活動を積極的に実施し、このサービスの定着を図っていきます。

特別養護老人ホームの新規開設

平成25年度において開設予定事業者を指定し、現在東部地域に建設が進められている特別養護老人ホーム（100床：全室個室ユニット）が、平成26年度中に完成し、事業をスタートします。

★新規特別養護老人ホームの概要

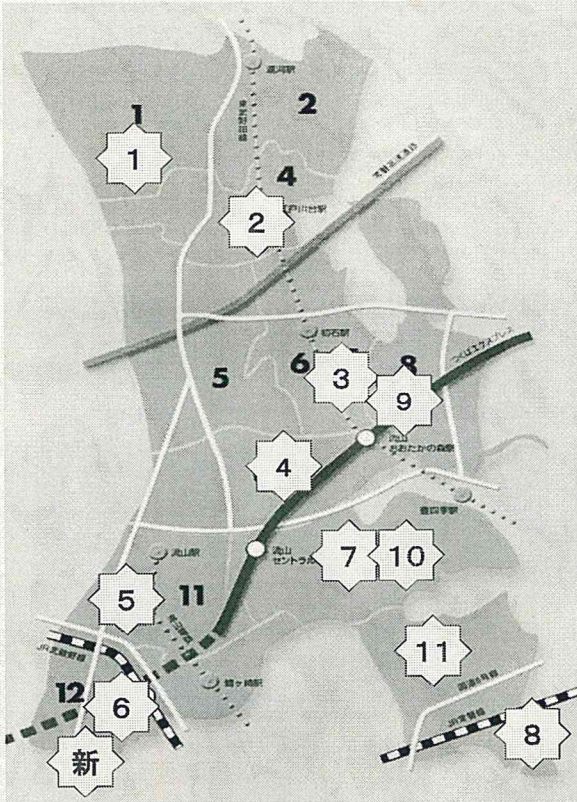
設置運営者：（仮称）社会福祉法人 正心会
建設地：流山市名都借1126他
施設名：（仮称）特別養護老人ホーム美晴しの里
施設概要：地上2階建て
ショートステイ10床
デイサービス定員30名 併設



※既存の施設（参考）

- ① リバーパレス流山（100床）
- ② はまなす苑（60床）
- ③ 初石苑（50床）
- ④ 特別養護老人ホームあざみ苑（108床）
- ⑤ 流山こまぎ安心館（100床）
- ⑥ 特別養護老人ホーム月の船（100床）

グループホーム（認知症対応型共同生活介護）の新規開設



平成24年度において開設予定事業者を指定し、現在南部地域に建設が進められているグループホーム(18定員:全室個室ユニット)が、平成25年度中に完成し、事業をスタートします。

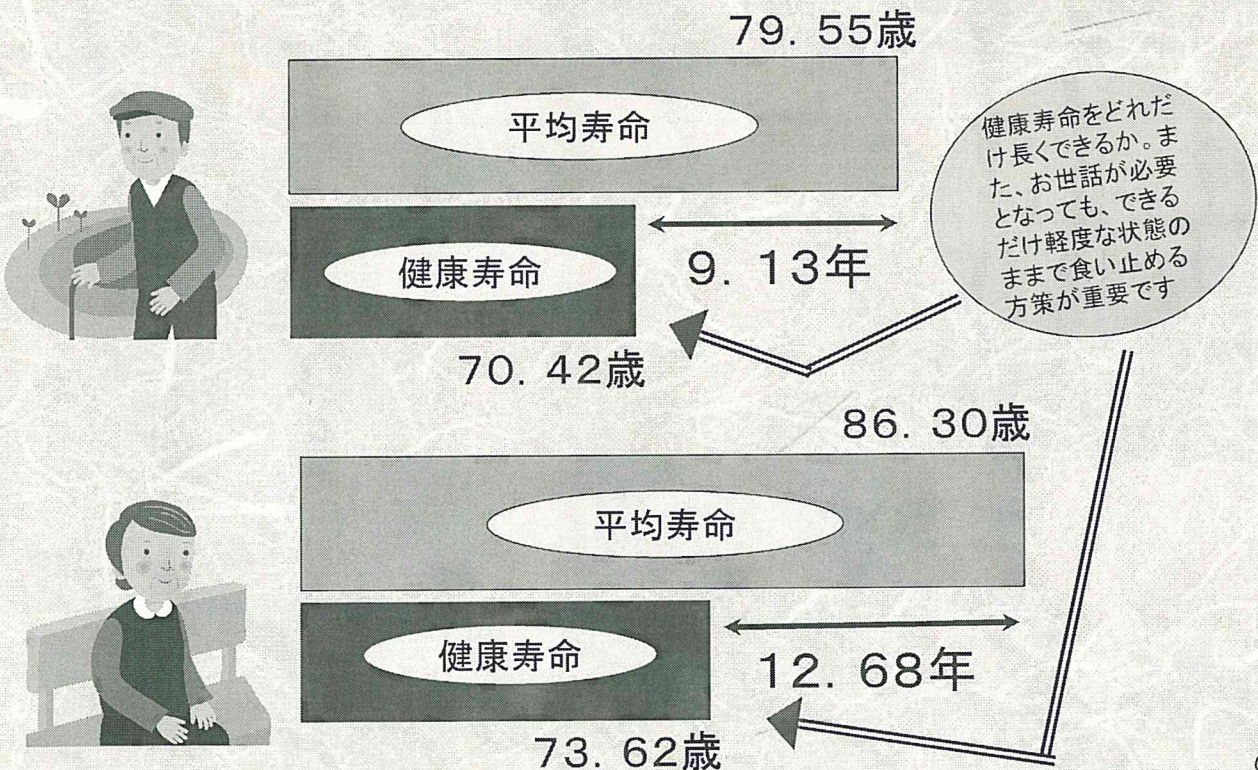
★新規グループホームの概要

設置運営者：(株)ヘルシーサービス
 建設地：流山市
 施設名：グループホームガーデンコート南流山
 施設概要：地上2階建て

- 1) グループホームわたしの家(定員15名)
- 2) 愛の家グループホーム流山美原(定員18名)
- 3) グループホーム花いちもんめ
- 4) おおたかの森グループホームあぜみち
- 5) グループホームおひさま流山
- 6) 愛の家グループホーム南流山
- 7) クララ清流
- 8) マザアスホームだんらん流山
- 9) グループホーム花いちもんめ翠
- 10) クララ清流式番館
- 11) グループホーム「和(なごみ)」
 ※3~11利用定員はいずれも9名

介護予防事業の充実

【以下、平成22年における全国推計】



＜継続発展させていく事業＞

★介護支援サポーター事業★

H25年4月にスタートした『介護支援サポーター事業』は、登録予定者を含めると、いままでに約200人の高齢者に参加していただくことができました。サポーターを受け入れる介護保険施設・事業所は、47箇所となっています。H26年度においても、最大300人を活動者数と見込んで関係予算を計上し、広報等によりPRに努め、事業の拡大を図っていくことを計画しています。



自分自身も健康でいられると感じています (サポーターの声)

※写真はいずれも流山市の実際例



とても助かっています。(受入施設の声)

＜検討している新規事業①＞

★高齢者生きがいの家への介護予防運動指導員の派遣事業★

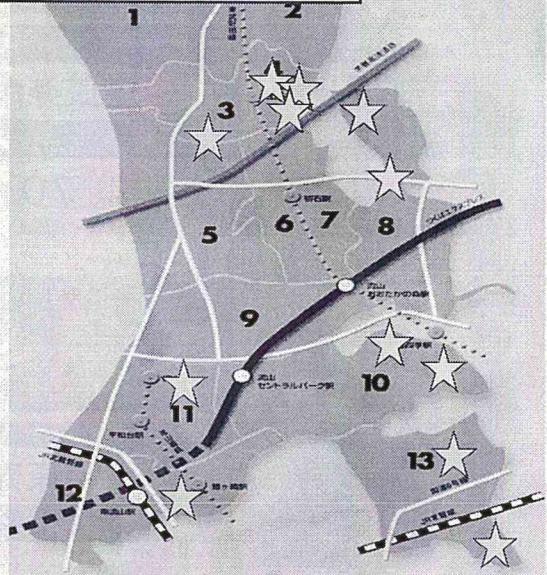
『高齢者ふれあいの家』が、現在市内に、12箇所(右図)運営されています。こうした流山市の特性を活かして、平成26年度においては、介護予防体操を指導できる人材の派遣を行うための予算を計上し、地域の身近な場所での介護予防の実践を促進します。



無理なく取り組み生活に役立つ体操です

※写真はいずれも他市の例

高齢者生きがいの家の場所



＜検討している新規事業②＞

★歌ってイキイキ～元気にドレミ♪★

日本音楽療法学会会員（理事長：日野原重明氏）の音楽療法士が、参加した皆さんと一緒に楽しく・イキイキとしたひとときを通じて介護予防につなげていきます。

音楽療法とは、音楽のもつ特徴を活かして心身の機能の回復・向上を図るものです。「バラがさいた」「ふるさと」のほか、「花は咲く（復興支援ソング）」などたくさんの方の懐かしく、心に響く歌を、ときには身振りを交えながら皆で歌います。歌うことで嚥下（えんげ＝飲み込む力）が鍛えられ、口腔機能の向上につながると指摘する学識者もいます。

こうした音楽療法を持ちいた介護予防の機会を提供するための予算を計上します。



リズムカルで心が元気に♪



身振り・手振りでリハビリ効果

※写真はいずれも「流山 元気にドレミ」の講座の様子

